

乗つて 自転車に



スカイツリーに向かって走行

「夢舞い。ポタリング」で、東京散策

ランニング、サイクリングを愛する人の「東京夢舞いマラソン」「東京夢舞いポタリング」。今大会で、マラソンは第13回、ポタリングは第5回を迎えた。

「ACTION BY THE

PEOPLE」をメッセージとする夢舞いは、市民が主役であり、まさに「市民力」によって開かれる大会。

当日の天候は生憎の雨。しかし、スタートとなる国立競技場には参加

者が続々と集まり、活気に満ちあふれていた。開会式を終え、マラソンランナーを見送ると、いよいよポタリングのスタート。太鼓の演奏とチアリーディングの

4.2.19 5キロのポタリングスタート



皆さんに盛大に見送られた。

外苑西通りを走り、一つ目のポイントの東京タワーへ。この日は雨のせいか灰色の背景にタワーの赤が榮え、少し神秘的に見えた。

次は皇居を見ながら、開業時の姿によみがえったばかりの東京駅丸の内駅舎へ。「赤レンガ駅舎」の美しさには圧

倒される。グランドオープンを迎えてたくさんの観光客でにぎわっていた。

混雑した都心を走り抜けて、東京駅やスカイツリー等の人気スポットを観光しながら、のんびりポタリング出来るのはかなり嬉しいことで、大会に参加したからこその醍醐味だ。

走路には市民ボランティアの方も大勢いて、先導したり、声を掛けたり、手信号で合図したりしてくれるので、交通量の多い所でも安全でスマーズに走行することが出来る。また、彼らが持つメッセージ付きの手作りプラカードは、道案内だけでなく、イラスト入りのものや、次はイケメン2人組がいます」といった面白いものもあって、走行中の楽しみのひとつだった。何より、笑顔での声援は元気を与えてくれた。

次なるポイントは月島・もんじゃ通り。ここにはエイドも設けられ、ランナーとサイクリストにドリンクを振る舞ってくれた。「お疲れ様です」と手渡されたドリンクに、ほっこり。

お腹も空いたのでここで昼食にすることに。もんじゃ焼きを堪能してお店を出ると、すっかり雨も上がっていた。秋の優しい日差しと風を感じながら



スポーツの神様・香取神社で祈願

二人ははつらつとしていて参加者の皆さんと一緒にポタリングを楽しんでいる様子だった。

スカイツリーの大きさに圧倒されながらおしなり商店街、神楽坂通りゴールの国立競技場へ。

マラソン参加者たちとも走行中やエイドでお互いに励ましあったり、手を振つたりと、終始アットホームな雰囲気を感じながらの道中だった。ゴールで女性参加者にはバラがプレゼントされたりゴー

ル。最後の最後までずっと笑顔にさせてくれた42.195キロメートルの旅。「街として人」とが一体になって楽しむのがポタリング。これからも進化し続ける「東京夢舞いマラソン」と「東京夢舞いポタリング」。来年はどんな笑顔に出会えるか楽しみだ。



グランドオープンした東京駅丸の内駅舎前



菊浦 啓子 きくうら・けいこ

「おはよう朝日(ABC)」レギュラーレポーターなど関西を中心に活躍し、近年は関東に進出してモデル、タレント、女優として幅広く活動。特技は自転車で「しまなみアイランドライド」(約200km)を完走するほどの実力。